

## 鹿島市総合教育戦略会議（第9回） 議事録（概要版）

1 開催日時 平成28年1月22日（金）10時31分から11時56分まで

2 開催場所 鹿島市役所 3階 庁議室

### 3 出席者等

- ・法定構成員 樋口市長、田中教育委員会委員長、江島教育委員会教育長、中島教育委員会委員、木原教育委員会委員、田代教育委員会委員
- ・市長部局 藤田副市長、橋村総務部長、打上市民部長、大代総務課長兼人権・同和対策課長、土井企画財政課長、橋村福祉事務所長、事務局（総務課職員 江頭、原田）
- ・教育委員会部局 染川教育次長兼教育総務課長、藤家教育総務課課長補佐、古川指導主事、小川指導主事、
  
- ・外部関係 なし
- ・傍聴 なし

### 4 協議又は調整した事項（確認事項含む。）

(1) 前回の会議の確認

5 出席者の発言のとおり

(2) 大綱素案たたき台

- ・子どもたちのあり方
- ・基本方針
- ・個別方針
- ・その他

5 出席者の発言のとおり

### 5 出席者の発言

司会：橋村総務部長

1 開会（橋村総務部長）

#### 2 市長あいさつ

樋口市長 改めて挨拶というのも前回の延長みたいなものですから申し上げませんが、この前お話がありましたとおり、一つ一つ大綱を詰めていくということで、今日もたたき台を御説明すると思っておりますので、よろしくお願いたします。

橋村総務部長 ありがとうございます。なお前回 1 月 14 日に開催しました会議の議事録については、今回は間に合っていないということで御了承いただきたいと思っております。レジュメに沿って進めさせていただきます。

### 3 確認事項

#### (1) 前回の会議の確認

(大代総務課長説明 大綱の編纂スタイル：子どもたちのあり方や方針などで構成された大綱、用紙一枚程度、A3 用紙一枚ぐらいにまとめる。それと施策を盛り込んだ数枚程度の付属資料、前回示した 3 つの案の中の C 案 大綱の考え方：子どもたちとその教育に焦点をあてて鹿島市における教育の方向性を示すものとする、子どもの教育に特化した形だが、子どもを中心として子どもを取り巻く学校家庭地域など色んな人たちが色んな形で関わっていくものとして捉える。 計画の位置付け：教育大綱と市の最上位の計画である鹿島市総合計画とはその制度としての体系は異なり上下関係はなく、鹿島市の教育施策にとっては密接なものである。総合計画と大綱は整合性がとれたものとする。大綱の付属資料に掲げる施策は第六次鹿島市総合計画にある施策やそれを補強する施策として大綱に定める基本方針と個別方針を見定めながら、それらの施策を横断的かつ戦略的に展開するものとして掲げる。 名称：前回鹿島市子ども教育に関する大綱としていたが、シンプルに鹿島市子ども教育大綱というふうに名称を改める。 期間：第六次総合計画と同じように 28 年度から 5 年間)

橋村総務部長 今までの説明でよろしいでしょうか。（「はい」という発言あり）ありがとうございます。

### 4 協議事項「大綱素案たたき台（子どもたちのあり方、基本方針、個別方針、その他）」

(大代総務課長説明 大綱素案のたたき台 (1)子どもたちのあり方：知徳体という言葉で事前送付していたが、心と体と学力という表現に変えている。子どもたちの理想とする姿は心と体そして学力について、この 3 つどれも欠けてはいけない、調和のとれた成長とその過程で個性を見だし、その個性を磨く。心については自分、本人の命を含めて、家庭それから人、他人、それからふるさとを大切にする心を育てる。体については適度な運動、バランスのとれた食事、必要な休息によってしっかりとした体を作る。学力については、基礎学力を定着した上で、これは底上げの意味を込めている。それと確かな学力を展開する。(2)の基本方針：現代社会の背景から展開する目標達成のための対応のあり方について示して

いる。社会が変化し、価値観が多様化する現代、将来を担う子どもたちに対しみんなで進める教育を推進する。推進のためには市民全体が子どもたちに関心と興味を持って、つながり信頼し合う関係の強化を図っていく。そうすることにより、周りの大人たちなどが子どもたちに対する関心と興味を深め、そして日常的に周りの大人たちが子どもたちに接することにより、子どもたち自身が自分は必要な存在ということの気付きを持って欲しい、そこでやる気が生まれるのでは。基本方針をつながりと信頼の関係を強めてやる気を呼び起こすみんなで進める教育とする。(3)個別方針：基本方針に基づき 6 つの分野に分けた個別方針。①子どもたちについては、心体学力の成長、心はふるさと教育、人権教育福祉教育における見せる・感じさせる、自ら体験をする教育、体は規則正しい生活の習慣化、学力は継続と徹底の教育、ICT 教育の効果的な利用。個性の磨きは、地域における指導者団体の発掘育成、子どもたちを取り巻く大人たちの発掘育成、それから子どもたち自身の市内外での様々な体験学習機会を生み出す。②つながりと信頼のための関心と興味は、積極的な情報提供。色んな取組に対する効果検証を進め、そして情報提供する、課題の共有をしてもらう。それから開かれた教育現場の構築。③家庭においては子どもの成長に合わせた家庭教育への支援、経済的な支援、ワークライフバランスの確保。④地域においては地域での居場所づくり、異世代交流、高齢者等の地域の力の取り込みの推進、子どもたちが積極的に外に向けて活動できるような態勢ができないものか。⑤公的学びの場においては、教職員の資質の向上、教える側と教わる側の教育環境の充実、それから縦と横の連携。⑥施策の横断的な連携ということで、子どもを中心として子ども視点を取り入れた施策の展開、福祉、生涯学習それから学校とかそういった色んな関係団体を取り込んで、子どもを中心として色んな施策を展開していければという考え方。)

- ・ (1)子どもたちのあり方という表題、次の(2)の出だしのところで目標達成のための対応のあり方としてある。あり方という言葉が違う意味と思う。(1)はむしろ例えば、子どもたちの理想とする姿とかいう表現がいいのかもしれないと思う。
- ・ 以前の分で知徳体という言葉が変わったことについては特段問題ないと思う。順番を心体学力とした理由は何かあるのか。
- ・ 学力だけじゃないというのが色々な PTA との話の中でもあり、心が大事なのかなど。
- ・ 私達が使う時には順番というより並列、知も徳も体も大事だということで並列した形で使う。
- ・ 表現はどうするのか。文章は何かしらの順番で書かないといけない。
- ・ これ見たら心の方を一番大事にしているということなんですよね、何となく。
- ・ そう受け取られるとすれば例えば図での関係が三角形になっているけれども、逆三

角形にするのがいいのかもしれない。心と体、学力を下に、心が突出していると思うなら。

- ・表記する場合どうしても順番になっていく。言われることも一理あるけれど、この順番で表記としてはいいのかなという気はする。どうしてもどれを一番に書くかという問題は出てくる。
- ・むしろ関心があるかもしれないと思ったのは個性と真ん中に書いている。個性とゆとり教育とは関係があるか。ゆとり教育というのは今どういう位置付けになるのか。
- ・教科で言えば総合的な学習も含めて全教科でという言い方しかしない。
- ・この個性の図の下に男の子と女の子といるが、この表記で問題起きないのか。最近トイレの表記もこれでは差別だというのが出てきている。
- ・ここは注意していきたい。
- ・イメージの中の公的学びの場、これは公的に絞ったのか。あえて公的と付けなくてもただ学びの場だけでもいいのではと思ったが、公的となれば何となく私立は除くというイメージを持ったので、そうではないのか。
- ・これは中学校までという意味なんだな。なくてもいいじゃない。
- ・(3)の中の学力のところで ICT 教育という言い方でいいのかな。
- ・(2)基本方針の中で、まわりの大人などが子どもたちに関心と興味を持ち、接することでやる気を生み出すというところで、関心というのはいいが、興味を持ちというところはこれでいいのか。興味と言えば、マイナスイメージも想像できるような
- ・興味と言ったら色々な興味がある。良い興味、悪い興味、変な興味
- ・このイメージ図も学びの場を上にして、地域と家庭が支えているような形で
- ・ICT ですけども、佐賀県が ICT 利活用教育という言葉を使っているので、それに合わせた方がいいと思う。
- ・ICT の効果的な利用でよくないか。
- ・基礎学力の最初に子どもたちみんなのというような、全員の底上げという表現をつけてもらえればいいかなという感じはする。
- ・そうすると全部につけないといけない。
- ・確かな学力を展開というよりも向上という方がすんなりくる。
- ・心を育てる、体を作る、これは本人が作るということになってしまう。
- ・他動詞か自動詞か揃えた方がいい。最初が個性を見出しその個性を磨くだから、他者が子どもたちに対してすること。心は育てるだからあっている、体はしっかりした体を作る、子どもたちの体を作る、学力は定着した上で確かな学力を身に付けさせる、向上させるとか身に付けさせる、語尾が。
- ・最初の心のところを大切に心を育むというふうにするれば。

- ・全部育むにしてもいいかな。
- ・基礎学力を定着した上でというのは。
- ・定着し確かな学力を育む
- ・心を育む、体を育む、確かな学力を育む
- ・育むとした場合、手が差し伸べられて行われるみたいな、自主性という意味ではどうだろう。日本語は非常に便利だけど、主語がない時がある。
- ・そうすると、子どもたちの理想とする姿とするから、子どもたち自身の言葉にしないといけない。自分家庭人ふるさとを大切に、適度な運動バランスのとれた食事必要な休息によってしっかりとした体を作る、基礎学力を定着した上で確かな学力を身に付けるという感じになる。
- ・確かな学力というのが、基礎学力が定着した上でもう一つ何か乗る訳か。プラスアルファを求められているということ。確かな学力とはなに。
- ・基礎学力の定着を図って、ここは先生達がやって、そのあと自分たちで意欲を持って理解する。
- ・そういう文章にしないといけないと、そうなっているかどうかだけを検証しておけばいい。
- ・基礎学力を習得した上で確かな学力を身に付けるとなればステップが違うよというのが分かる。
- ・しゅうは修めるでなく習う。した上であえて付ける、プラスアルファというイメージを持たせるため。
- ・(3)⑤の公的をとって、⑤の横の連携で中学校同士というのを入れるか入れんか迷っている。小学校同士だけ、等でくくれば中学校も入っていると判断はできるかな。
- ・等というのは中学校のこと。そしたら小中学校間と書けば。
- ・幼稚園保育所等も含まれる。
- ・学校同士等にすれば
- ・基本方針の中にやる気という言葉があるが、(3)の個別方針の中にその言葉がないという感じがする。つながり、信頼はあり、みんなというのが家庭、地域、学びの場とかあるけれども、やる気というのをどこかに表せないか。
- ・(3)の子どもたちの欄の①の心というところに何か言葉を入れれば…
- ・最初の①子どもたちのところに書いた方が、心、体、学力全部にやる気を持たせるよう、ここの分野の所の子どもたちのところにやる気という言葉をつけ加えた方が全てに繋がる。
- ・(2)の基本方針とバランスをとるなら、子どもたちとやる気というような分野になる。
- ・子どもたち・やる気

- ・①のところは心体学力の成長というのが 1 つ項目があって、個性の磨きという 1 つ項目がある。もう 1 つやる気についての表記をすれば(2)とつながりが出てくる。
- ・文章はなかなか難しいけれども、もう 1 行、やる気についてコメントをすることについて検討していいと思う。
- ・いじめを許さないというような項目がここに入っていないといけないのかなど。
- ・確かに、人権教育というイメージが違う方向に膨らんだりする。そうするとふるさと教育、人権教育、福祉教育その次にいじめを許さない教育
- ・命を大切するもお願いしたい。
- ・事務局の説明では心の部分に入る。
- ・命を守るということで自分を大切にすること。
- ・切った方がいい、命を大切にすること、いじめを許さない教育。
- ・その場合に命に生きるという生命と書いた方がいいのかもしれない。そしていのちと読ませる。
- ・自分が生まれたことが非常に嬉しい、大事なことだということと、命を無駄にするなというふうになる。
- ・教育現場は大変、授業のほかにも色んな教育をしないといけない。
- ・やっぱり子どもたちを育てる上で一番基礎になる部分。学力がうんぬんかんぬんという以前の問題。
- ・そういった意味では順番的には心体学力でいい。

(大代総務課長 修正事項の確認 (1)の子どもたちのあり方を、子どもたちの理想とする姿、それから黒丸と下の丸を変える。心は自分家庭人ふるさとを大切にすること、体は適度な運動とバランスのとれた食事必要な休息によってしっかりとした体を作る、それから学力は基礎学力を習得した上で確かな学力を身に付ける。イメージ図を逆三角形の心体学力というような表記、中の男女の表記を変える。(2)の子どもたちに関心と興味を持ちというところの興味を削る。イメージ図の家庭と学びの場を入れ替えて公的学びの公的を削る。個別方針で子どもたちを子どもたち・やる気、心のところでふるさと教育、人権教育、福祉教育などにおける見せる感じさせる体験教育、それに加えて生命を大切にすること、いじめを許さない教育とする。学力のところ、ICT 教育の効果的な利用を ICT の効果的な利用に変える。子どもたちのやる気と一つ加えて、仮置きだが意欲が発揮できる環境づくりというのを入れる。公的学びの場を学びの場に修正。同じく縦と横のところの小学校同士等のところを小をはずして学校同士等に修正。)

(大代総務課長 今後のスケジュールの説明 このたたき台を修正した素案をまた皆さんに示す。2月2日に議会全員協議会で素案の説明。2月中にパブリックコメ

ントの募集。3月の会議でパブコメや議会の全員協議会での意見の確認。)

樋口市長 ありがとうございます。

## 5 その他

橋村総務部長 次回の開催日ですけれども、後ほど3月ということで調整をさせていただくということよろしいでしょうか。

中島委員 日にちは未定ということで次回は3月になってからということですね。

橋村総務部長 はい、そうですね。そしたら今日は貴重な時間を拝借しましてありがとうございます。良いものができあがることを期待しながら終了させていただきます。今日はありがとうございました。

(11:56)

・次回開催日 平成28年3月 ※日時は未定

内容「大綱素案への意見、別冊施策リスト等について」